

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	270201064
法人名	社会福祉法人伸康会
事業所名	グループホームふれあい
所在地 (電話番号)	〒036-8381 青森県弘前市独狐字石田172-1 (電話) 0172-95-3000

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年8月26日	評価確定日	平成20年9月30日

【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年 8月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤	20人, 非常勤 3人, 常勤換算 0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	3,600 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,380 円			

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	2 名	要介護2	10 名		
要介護3	12 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	59 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三上内科医院, 松野歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周囲を広大なりんご畑がかこみ、岩木山が津軽の象徴としてまじかにそびえる姿が印象的である。隣接する老人保健施設、デイサービスと合わせて3ユニット形式のグループホームは外から拝見すると巨大な施設であるかのように見えるが、施設の中に入るとユニット別に生活の空間が分けられて、小規模で家庭的なケアが実践されるように配慮されている。周囲は農園ということで静かな環境の中にあり、入居者の方も自由に散歩など楽しむことができ、その都度見守りの体制もできている。職員の人数も比較的余裕のある配置が見られ、個々のペースに合わせたケアが実践されていることがうかがえる。又、入浴の機会においては各ユニットで特徴ある浴室があり、入居者が希望する場合は、温泉浴場風の大きな浴槽にも入ることができる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議の参加者の確保の働きかけや地元の一員としての交流などについては引き続き改善課題として取り組み中である。トイレの改善課題についてはカーテンによる仕切りが指摘されましたが、匂いなどで周囲に不快な思いが生じないよう職員で話し合われて、その都度掃除を徹底していくように実践されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価による取り組んでいきたい内容については、各ユニット別に話し合われて職員が個々に意見を出しやすいような環境を作り、課題に取り組みされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>グループホームの活動内容の報告を中心にして、地元の代表者からの行事や会合などの働きかけ、相互の協力の確認、包括支援センター職員から課題に対する指導的な内容の議事が進められており、活動に生かされるよう努力されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からの意見等については職員に気軽に話されるような体制作りがされており、実際にあった意見や苦情についてはその都度話し合わせ、改善に向けて対応しており、書類にまとめている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>広大な農園の中ということもあり、集落から離れた場所で隣近所の関係という感覚は困難であるが、農園で作業をしている方との面識をもったりして緊急時の連携などスムーズに行われるよう働きかけている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念をベースに利用者の方へ楽しい時間をとる意識を持って全職員で話し合い理念を作り上げている。今後、地域の中で暮らしているという気持ちもたれるよう、地域密着型の理念を作り上げていくよう検討されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者職員間で毎月の会議の中でも確認しあっている。また、日々の入居者とのコミュニケーション等の中でも理念の実践に取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	施設周辺への散歩時も、地域の住民の方からも挨拶・声掛けをされており理解も得られている。また、納涼祭に来てもらったりして交流をされている。		地域住民とのつきあいについては周囲の畑の作業されている方に声かけを行ったりしているが、併設の老人保健施設が中心となつての付き合いが強く、ホーム単体での付き合い・取り組みが少ない。ホーム独自の取り組み・隣近所の人とふれあう機会を作れるよう期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>月末にはユニット会議を実施し、勉強会も行なっている。また、会議では外部評価での改善点についても話し合い、前向きに取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>管理者は定期的に有意義に行われるよう、話し合いの内容について考慮したり、各関係者に参加を促したりして努力されている。また、議事録をとってサービスに役立てたり、次回の課題として参加者に働きかけたりしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者とは定期的に連絡を取り、状況報告や意見交換等が行なわれている。またその都度困難事例について相談したりして、助言をもらったりしている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護の制度に全職員で勉強会を開催し、制度の理解に取り組んでいる。</p>		<p>パンフレットやポスターを利用するなどして、利用者や家族にも制度の概要について情報提供する機会づくりを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルも作成されており、勉強会・研修等で学び、全職員が虐待防止に対して理解されており、前向きに取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に説明し、理解を得ている。また、身体状況や精神状態に変化があった場合の対応方法も含めて説明されている。</p>		<p>重要事項説明書の作成日付・変更の場合の記述を明確に記入し、必要な場合は再度説明されたことが分かるような取り組みを期待したい。</p>
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホームのお便りが毎月発行されており、特色として記載されている写真は一人一人違い家族に配慮されており、全利用者27人分の便りを作成し配布されている。出納帳等に関しての定期的な連絡は十分でない。</p>		<p>出納帳の明細は、家族の面会時等だけではなく、ホームの方から定期的に家族に報告する取り組みを期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見・要望等、こちらの方から積極的な声かけを行うなど家族等が言いやすい環境づくりに努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動により不安を少なくする為、異動後も時々グループホームへ顔を出すようにしている。また、利用者の方からも出向くといった機会も設けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は勉強会等を通して他の職員へ伝達している。また、勉強会での発表担当者が自由にテーマを決め、質の向上・職員育成に取り組んでいる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設との交流を深め、合同で勉強会を開催している。また、県外の施設へと見学に行ったりと積極的に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居当初は、利用者本人が落ち着くまで家族と毎日電話で話をしてもらったり、週末に自宅に帰って一泊したりしてホームでの生活に少しずつ慣れ、安心感を持ってもらうように工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とのコミュニケーションの中で信頼を深め、利用者・職員共に協力し合い生活しているという関係作りをしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時のアセスメントや日常のふれあいの中で希望や意向を見出し、その人によっては以前行ったことのある温泉に出かけたりしている。 入所時のアセスメントの情報量は少ない。		入所時のアセスメントの情報を多くする為に、書式の見直しなど考慮したい。また一部鉛筆での記入についてもその人の変化が分かるように文面を残しておくような書式が望ましい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月ユニット別に会議を開催し、皆で話し合い個別のケアについて話し合われている。管理者はそれをもとにして状況により、介護計画を見直されたりしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	サービス計画は定期的に3ヶ月に1度見直し、状態変化時は本人、家族、関係者らが話し合う機会を作るようにし、介護計画が作成されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者に対しては柔軟な対応で接しており、外出や日常の買い物にも積極的に対応されている。また、長期入院した利用者の空きベット等にはショートステイを利用できるように現在検討中である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医の受診希望については柔軟な対応をされており、ホームでの職員の体制をつくり必要な受診の支援がされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りが必要な場合には、主治医・関係施設・家族・本人の意向も踏まえ対応している。また実際に状態変化があった場合もその都度意向を確認し、今後の方針について話し合われている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の個人記録は人目につかないようにしている。また、職員の対応もさりげなくトイレ誘導したり、食事の介助をしたりしている様子が見られる。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な時間割はあるが、一人一人のペースを尊重した支援が行われており、自由に屋外に散歩に出かけたりしている。そういう場合も見守りできる体制がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備なども含めて食事をゆっくりと楽しむ環境づくりに努め、職員も同じテーブルで会話を楽しみながら食事をしている。食べる場所も特定のテーブルにこだわらず、希望に応じて場所を自由に変えたりしている様子も見られる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>各ユニットごとに浴槽の造りも違い、他のユニットでの入浴希望にも対応している。週二回の入浴になっているが、希望に合わせて入浴できる体制があり、毎日でも入浴することができる。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴や趣味を活かし、一人ひとりが役割や楽しみごとの機会がもてるよう努めている。プランターではトマトを栽培したり、編み物の講師をしていただいている。また、自分の部屋の掃除をしたり、メニュー書きなどの役割をもったりしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>各利用者の希望を聞き、少人数での散歩や買い物、また急な要望にも対応できるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は勉強会等を通じて身体拘束について理解している。夜間、転倒の可能性のある利用者には体動時わかるように、ベッドの手すりに鈴をつける等の工夫をされている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常的に職員がホールにいるように業務をくんでおり、利用者に目が届くようにして、見守りを徹底されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回の消防署立会いで避難訓練を実施しており、緊急・非常時には職員の連絡網を使用し、連絡のとれる体制をとっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量、食事摂取量の記録をとり栄養の確保や状態の把握・改善に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策としてマニュアル・手順は目につきやすい所へ掲示している。また、勉強会を開催し、感染症の蔓延予防に努めている。		職員の使用するマニュアルに日付・更新日・変更日を記載するなど、感染症に対する知識・情報が正しく伝達されるような取り組みを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレにはカーテンを使用しており、排泄時の汚れ・臭いに対してはすぐさま掃除・換気を行い、利用者の不快感を取り除いている。</p>		<p>プライバシーの点から、もう少しカーテンの長さがあることにより、利用者のプライバシーが守られる事に期待したい。</p>
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フローリングの他にも畳の居室もあり、希望にあわせて対応されている。また、絵を飾ったり家具や小物を持ち込んだりして、利用者・職員ともに過ごしやすい環境づくりに努めている。</p>		

 は、重点項目。